

研修ニュース

〒518-0814 三重県伊賀市上友生 785 番地

TEL&FAX : 0595 (21) 8839

E-Mail : iga-ken@iga.ed.jp

研修講座 生徒指導②

「 真正のエンカウンターを基盤とする集団づくりと個への支援のポイント 」

【講師】 大阪成蹊大学 米田 薫先生

8月5日（金）、講師に大阪成蹊大学教授 米田 薫先生をお迎えして、研修講座「生徒指導②」を実施しました。

研修の初めには、教育相談やカウンセリングでよく相談がある事例についての話があり、悩んでいた、困っていたりする児童生徒に対する個への支援のポイントについて教えていただきました。まずは、困っている児童生徒の気持ちに寄り添うこと、そして、話をしていく中で解決法を見だし、具体的な行動について選択を促すことができること、また、教師も気持ちを語り、児童生徒への思いを伝えることが大切であることを学びました。

次に構成的グループエンカウターの基本的な展開方法や実践のポイント等について、ペアでエクササイズを行いながら学びました。お互いのことを知ることを目的としたエクササイズで、じゃんけんに勝った人が負けた人に質問をすると行った形式で行った後、「話をしてみてどんな気持ちになったか。その理由は何か。」について伝え合いを行いました。人と話をすることが楽しいといった体験とその中から得た気持ちや気づきを分かち合うこと（シェアリング）の大切さについて学ぶことができました。



講義の後半には、ソーシャルスキル教育のプログラムや指導のポイントについて話がありました。動画を見て、表情やジェスチャー、置かれている状況（その場の雰囲気）からその場にいる人の気持ちを読み取り、どういった行動や発信をすべきかについて考えるプログラムを紹介していただきながら、指導のポイントについてよいモデルを示すことや、練習し誉めながら修正することの大切さについて学ぶことができました。各校・園で還元いただき、2学期からの実践につなげていただければと思います。

アンケートより【一部抜粋】

- シェアリングをすることが、相手との関係を築くためにとても大切だと実感しました。コミュニケーションの取り方が苦手な子どもたちに対して、自分の気持ちを少しでも伝えることができるようにすることが人との関係づくりにつながっていくと思いました。そして、何より私たち教職員同士がシェアリングを大切にして、コミュニケーションをとることが大切だと思いました。(小)
- 教えていただいたグループエンカウンターを取り入れ、生徒たちが集団の中にいることの楽しさや気持ちを共有することのうれしさを感じてほしいと強く思いました。(中)
- 「気持ちは結論」という言葉が印象的です。「こうあるべき」という考えが強く、気持ちを抑えている子が多いと思っています。「こうありたい」という気持ちが持てるように気持ちの交流をこれからも続けようと思います。(小)

